

# 中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL 048-873-0216 FAX 048-810-1120

知・徳・体の調和のとれた  
心豊かな児童の育成

学びいっぱい 優しさいっぱい 元気いっぱい

## 健康づくり・体力づくりの秋 ～ 運動会を終えて ～

校長 石田 成夫

朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じる季節となりました。校庭やグリーンランドの木々も、少しずつ葉の色を赤や黄色に染め、秋の装いに変わりつつあります。今年の秋は週末に雨が降ることが非常に多く、10月25日(土)に予定されていた運動会も、雨で延期とさせていただきます。たくさんの観客の前で演技や競技を披露することを楽しみにしていた子どもたちは、運動会が延期になったことを聞いて、本当に残念そうでした。

そして迎えた28日(火)、さわやかな秋風の吹く中、無事に運動会を開催することができました。平日の開催となったことで、給食や午後の授業など変則的な対応となりましたが、子どもたちはこれまで積み上げてきた練習の成果を発揮し、運動会を成功させることができました。

運動会の始まりは、明治7年に海軍士官の学校で行われた「競闘遊戯会」と言われています。当時のプログラムを見ると、玉入れや綱引き、リレーといった、現在でも続いている種目が見受けられます。その後、令和にいたる150年あまりの間に、運動会は全国の学校に広がり、その過程で様々な変遷や工夫が見られました。しかし、これらの変化に共通して言えるのは、子どもの安全を守るために、けがの発生率が高い種目が無くなっていったということです。

私が子どもの頃には、騎馬戦や棒倒しといった体でぶつかり合う競技が当たり前でしたが、現在では見なくなりました。特に大きく変化したのは、2016年にスポーツ庁から「組体操等による事故の防止について」という安全配慮要請が出された時で、この通知に基づき、段数の多いピラミッドやタワーといった、けがの発生率の高い技は避けるようになりました。

他に、けがとは別の視点もあります。私が子どもの時には、コースの途中で袋入りのパンが糸で吊るしてあって、手を使わずに口でむしり取って走る「パンくい競争」があったり、コースの途中でコーラを一本飲み干して走る障害走があったりしました。炭酸飲料を飲んですぐに走るといった危険性や、食物アレルギーの心配を考えると、今後復活することはないでしょう。

実施時期という視点では、以前は9月末に多かった運動会を10月、11月に実施する小学校が多くなりましたが、実施時期だけではなく時間帯も変わっています。以前は1日かけて実施するのが当たり前だった運動会ですが、今は午前中だけ、半日で終わらせる学校がほとんどで、これは熱中症のリスクから子どもたちを守ることを目的です。

時代によって時期や内容が変遷してきた運動会ですが、そこには子どもたちの健康と安全を守るという大きな理由があります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ようやく運動に適した気候になってきた今こそ、今と昔の運動会の違いや変化を話題としながら、子どもたちと一緒に、健康づくり、体力づくりを楽しんでいただけたらと思います。

### 「心を潤す4つの言葉」推進週間

本校では、11月17日からの一週間を、「心を潤す4つの言葉」推進週間として重点的に取り組みます。これは、さいたま市内の各学校における児童生徒・教職員・保護者・地域の方々が、積極的に気持ちのよいあいさつや返事、心をこめた素直な言葉を交わすことによって、一人ひとりの心が通う学校や地域づくりを目指すものです。家庭・地域におかれましても、この4つの言葉の積極的な活用にご協力をお願いします。



